

# 学習指導案 (略案)

1 氏名	辻 陽介
2 日時	平成29年 9月 14日 (木) 第2限
3 授業集団	第2学年 普通科 24HR 在籍42名
4 教科・科目名	教科：国語 科目：現代文
5 授業場所	24HR 教室
6 本時の単元名	「科学者が責任を負う」とはどういうことか (評論「科学・技術の歴史の中での社会」)
(1)本時の目標	自分の言葉で説明し、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。

## (2)指導の経過

段階	時間	教師の活動	※ 生徒の学習活動
導入	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート配布、前時の振り返り。</li> <li>聴く時の態度について確認する。</li> <li>テーマが「科学と技術の結びつき」であることを確認し、読むテンポを設定して、本文(第三段)全体を俯瞰させる。</li> <li>2人組を作り、話し手を決定。</li> <li>3人組でワークシートの作業を進め、論の展開を把握させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の準備、ワークシートの配布。</li> <li>「good&amp;new」について班員に語る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     ア 本文第三段(形式段落⑬～⑯)を俯瞰して読み、論理の展開を追う。(個)(グ)                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック読みでインプットする。[1分]</li> <li>◎2人組。内容を相手に伝えてアウトプットする。[1分](主)</li> <li>◎3人組。協力してワークシートを完成させ、論の展開を把握する[4分]。(自)</li> </ul>
展開	30分	問い：あなたはこのトラック運転手の友人だとして、彼に責任はあると思いますか？ <ul style="list-style-type: none"> <li>「自分ごと」として(当事者意識を持って)考えるように促す。</li> <li>発表時のルール(聞き手は他者の意見を受け止める)を確認する。</li> <li>班の中でワークシートをシャッフルし、反論を書くよう指示する。</li> <li>ワークシートを持ち主に戻すよう指示する。</li> <li>本文の形式段落④(科学者の責任)に着目させる。</li> </ul> 問い：トラック運転手が「責任を負う」と、科学者が「責任を負う」と、違いはあると思いますか？	イ 「責任を負うとはどういうことか」について、探究する。(個)(グ) <ul style="list-style-type: none"> <li>ストーリーを読み、「トラック運転手に責任はあるか」について自分の考えを書く[3分]。(主)</li> <li>◎一人ずつ発表し、班で共有する[1分×3]。(自)(視)</li> <li>◎他者の意見に対して、反論を書く[3分]。(視)</li> <li>形式段落④(科学者の責任)をマーカーで囲み、読み直す。</li> <li>◎他者の反論をふまえて、「トラック運転手が『責任を負う』ことと、科学者が『責任を負う』ことに、違いはあるか？」について自分の考えを書く。[5分](視)</li> </ul>
まとめ	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>哲学的には、「責任」とはどのような概念であるのかを補足する。</li> </ul> 問い：「この一時間で学んだことは何ですか？」 <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート回収。</li> <li>次回は本時の学びを元に、「21世紀の科学のあり方」について考えることを予告する。</li> </ul>	ウ この一時間で学んだことを自分の言葉で説明し、振り返りをする。(グ) <ul style="list-style-type: none"> <li>◎一時間で学んだことを一言ずつ班員に伝える。[3分](自)(視)</li> <li>ワークシートを提出する。</li> </ul>

\* ICT機器を使用する場合は、「教師の活動」の中に機器名を入れてください。

\* アクティブ・ラーニング的な活動については、「生徒の学習活動」の 文頭に◎をつけてください。また、その活動が3つのつけたい力のどれにつながる活動かも印をお願いします。

自己有用感→(自) 視野の広さ→(視) 主体性→(主)

注 教科書該当ページ及び参考資料を添付してください。